



丹波竜化石工房 2021 冬期特別展

パレオ・ハペ展

～太古の両生爬虫類たち～

Paleoherpetology: in the Shadow of the Dinosaurs

2021

2022

12.11  3.6 



【開館時間】 10:00-16:00 (入館は15:30まで)
【入館料】 大人210円、小中学校100円
【主催】 丹波市
【協力】 群馬県立自然史博物館、兵庫県立人と自然の博物館、
ミュージアムパーク茨城県自然博物館、早稲田大学、
丹波篠山市立太古の生きもの館、丹波市立青垣いきものふれ
あいの里、丹波市立氷上回廊水分れフィールドミュージアム
【復元画】 雨宮ひかる、小田隆
【問合せ】 丹波市立丹波竜化石工房 (丹波市山南町谷川1110番地)
電話: 0795-77-1887

丹波市立
丹波竜化石工房
Tamba Dinosaur Fossil Lab

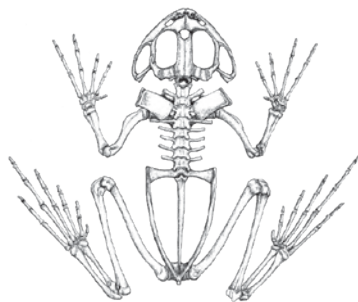


カエルにトカゲ、ヘビ、カメ、ワニ...

パレオ・ハペの世界へようこそ！

パレオ・ハペってなんだろう？パレオは「古い」という意味、ハペは「両生爬虫類学 (Herpetology)」の略語です。兵庫県丹波地域にひろがる約1億1000万年前の地層は、恐竜時代にくらしたカエル類やトカゲ類などの化石がたくさん見つかる世界有数の化石産地で、次々と新しい発見が生まれています。

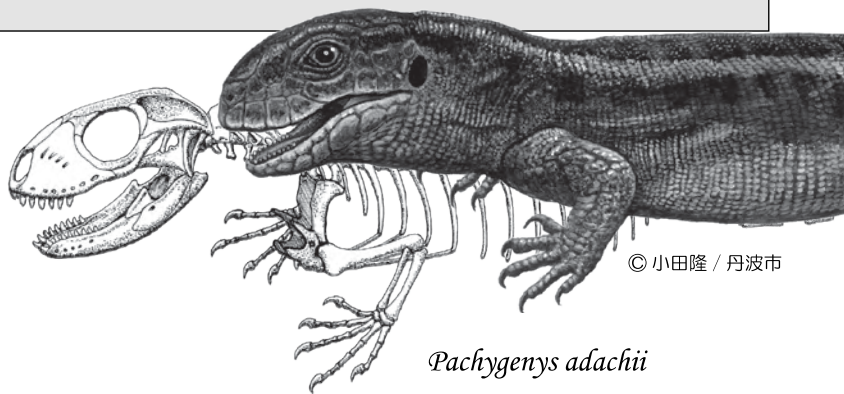
「パレオ・ハペ展」の主役は、そんな太古の両生爬虫類のなかまたち。恐竜たちの影にひそんでいた、ちいさなモンスターたちの世界をのぞいてみましょう。



© 小田隆 / 丹波市



Hyogobatrachus wadai



© 小田隆 / 丹波市

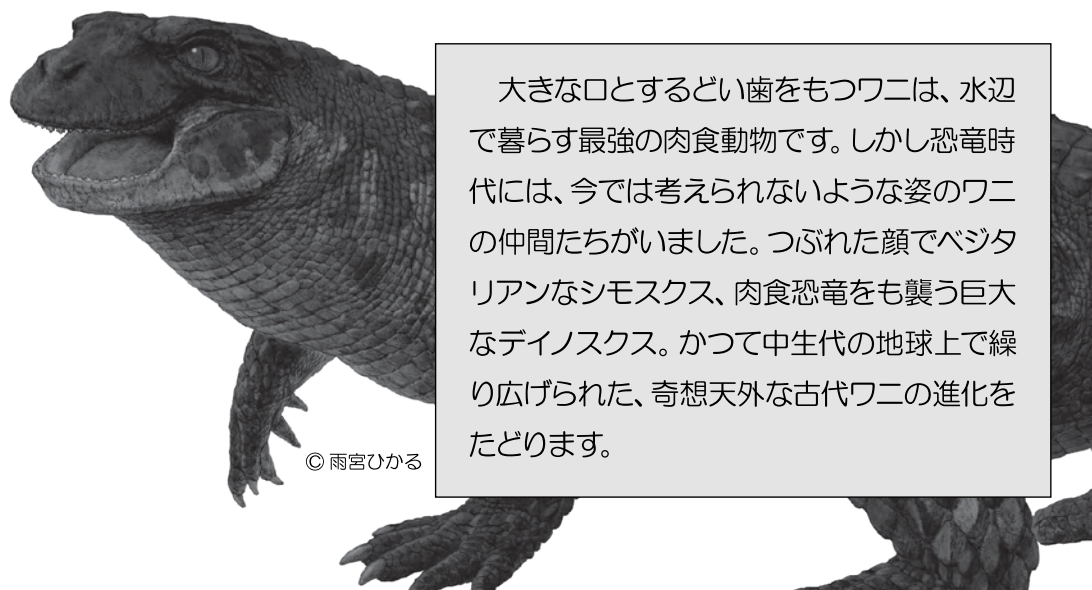
Pachygenys adachii

奇妙キテレッツ、古代ワニ



Simosuchus clarki

(早稲田大学所蔵)



© 雨宮ひかる

大きな口とするどい歯をもつワニは、水辺で暮らす最強の肉食動物です。しかし恐竜時代には、今では考えられないような姿のワニの仲間たちがいました。つぶれた顔でベジタリアンなシモスクス、肉食恐竜をも襲う巨大なデイノスクス。かつて中生代の地球上で繰り広げられた、奇想天外な古代ワニの進化をたどります。



(↑丹波市北部↑)



丹波市立 丹波竜化石工房 Tamba Dinosaur Fossil Lab

化石工房では古生物を楽しく学ぶセミナー＆ワークショップを開催しています。開催日程や申込については、HPをご確認ください。

入館時のお願い

- マスクを必ずご着用ください。
- 混雑時は入館規制を行う場合があります。
- 館内の滞在時間は30分以内でお願いします。
- 館内では他の入館者と十分な距離をとって下さい。
- 体調不良(咳・発熱)を感じる方は、入館をご遠慮ください。

新型コロナウイルス感染症拡大対策に、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。